

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立長迫小学校
(和庄中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+2.3	+4.6
令和5年度	+9.8	+14.5
令和4年度	+2.6	+1.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 話すこと・聞くこと 我が国の言語文化 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 全国平均 県平均 本校 本校 全国 県 70 % 67.7% 69%	重点課題	◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。(設問1二(2))【話すこと・聞くこと】(正答率47.1%) ◇相手意識や目的意識をもって、情報を集め、分類・整理し、自分の考えが伝わるように文章にまとめることに課題がある。【書くこと】
	改善の方策	◎ある事柄を説明するために、集めた資料を複数のまとまりに分けたり、異なる内容の資料を総合したりして表現する活動を行う。また、相手意識や目的意識を明確にし、資料を提示しながら話す活動を取り入れる。 ◇学年の発達段階に応じて、学習の前・中・後において、相手意識や目的意識をもたせたり、確認したりする場をつくり、書く内容を吟味したり、振り返ったりしながら学習に取り組ませる指導を行う。
	検証	◎標準学力調査【話すこと・聞くこと】(第5～6学年12月)目標60%→結果81.7% 全国学力(設問1二(2))(第5学年2月)目標70%→結果87% ◇全国学力(設問2二)の類似問題(第5・6学年,2月)目標60%→結果78.8%
算数 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 全国平均 県平均 本校 本校 全国 県 68 % 63.4% 64 %	重点課題	◎道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。(設問4(3))【変化と関係】(正答率29.4%) ◇図形の性質を正確に理解し、ある事柄が成り立つことを数学的な用語を用いながら説明することに課題がある。【図形】
	改善の方策	◎情報を取り出し、必要な言葉や数式を用いて文章を書き、条件に合わせて筋道を立てて説明する活動を日頃から取り入れる。 ◇図形の性質を捉える学習を丁寧に行うとともに、複雑な情報の中から必要な情報を取り出し、問題の文章と図、式を結び付けて表現させる指導を行う。
	検証	◎標準学力調査【変化と関係領域】(第1～6学年1月)目標60%→結果65.5% 全国学力(設問4(3))(第5学年2月)目標60%→結果80% ◇全国学力(設問3(3))の類似問題(第5・6学年,2月)目標60%→結果87.9%

【来年度に向けて】国語科では、資料を活用しながら自分の考えが伝わるように表現を工夫する力を育む。特に、聞き手の反応を意識した話し方や、適切な資料の選び方を考える活動を充実させ、実際に資料を使って話す機会を増やすことで、より効果的な表現力の向上を目指す。算数科では、問題を解く際に、学年に応じた関係図、線分図、テープ図を活用し、数と数の関係を視覚的にとらえられるよう指導する。特に、速さ・時間・道のりの関係を図で整理し、論理的に説明する力を育むことで、より深い理解を目指す。